

### 第33回愛知サマーセミナーにおけるコロナウイルス感染防止対策について

昨年32回のサマーセミナーは、460講座のべ1.5万人の参加規模で開催した。第5波の直前ではあったが、幸いクラスターを出さず運営ができた。講座と参加について、以下のように感染防止対策を取り組む。なお、緊急事態宣言など、開催が難しい場合は、中止も含めて十分な議論をして適切に判断する。

【講座募集について】 ※これまでの開講条件とは大きく異なる。

< 留意事項 — 登録用紙に記載 >

- コロナ対策の協力呼びかけ（健康チェックシートを含む）
- 今回は、1講師1講座（単発1コマ）のみ \*特別講座を除く。
- FWは「昼食なし」で1・2限または3・4限の連続2コマも可。
- 展示企画も教室に配置する。（廊下やロビーの密を防ぐため）連続2コマも可。
- 次の講座は、今回は「募集しない」
  - ・調理など食事を伴う講座
  - ・バスケ・サッカーなど接触プレーのあるスポーツ系の講座
  - ・合唱や吹奏楽の講座
  - ・机を寄せ集めて長時間討論する講座 など。
- 市民講師は200講座（抽選）まで、私学関係の講座550講座とする。
- 実名で登録（芸名やペンネームは「なし」）し、団体名も正式なもので登録する。

※登録用紙には記載されていないが、講座が確定した場合、以下の条件を加える。

- 講師が当日、発熱または体調不良（風邪症状）など、コロナウイルス感染が疑われる場合は実行委員会に連絡の上、開講を取りやめる。また、保健所が規定する以下の項目に該当する方は開講できない。サマーセミナー当日の2週間以内に「法務省・厚生労働省の定める諸外国へ渡航された場合」「新型コロナウイルス患者やその疑いがある患者との接触歴がある場合」またはサマーセミナー当日が「新型コロナウイルス感染症の疑いでPCR検査を実施し、陰性が確認され2週間以内にかかる」場合である。この場合も、事前にわかった段階で実行委員会まで連絡することとする。

【参加について】

#### ① 参加条件

- 微熱（37.5は目安）・風邪症状・体調不良者は参加できない。
- マスク着用・参加受付カード（保健所作成）の提出は義務。
- 参加者にはリストバンドを使い、出入りもでき、会場が変わった場合でも受付済の証明とする。16日、17日、18日で違う色を使用する。
- また、保健所が規定する以下の項目に該当する方は参加できない。サマーセミナー当日の2週間以内に「法務省・厚生労働省の定める諸外国へ渡航された場合」「新型コロナウイルス患者やその疑いがある患者との接触歴がある場合」またはサマーセミナー当日が「新型コロナウイルス感染症の疑いでPCR検査を実施し、陰性が確認され2週間以内にかかる」場合。

#### ② 受付での感染対策

※一般受付と別に、感染防止用のコーナーを作り、要員を配置する。

- 飛沫防止シールド
- 検温ができる体制
- 参加受付カードを忘れた場合の対応。  
⇒検温と書き込みのスペースと要員。
- 手渡しではなく、参加者が自らとれる工夫。
- ある程度の声掛けは必要なので、ディスタンス（1m以上）がとれる工夫。
- 体育館では、スリッパを使用する。既存のスリッパを使う場合、使用後は消毒する。
- 講座によっては、体育館などは体育館シューズを持参する。

### ③ 受講条件

○講座受講カードに、氏名と所属、電話番号を書くこと。(講座受講時に徹底する。)

### ④ 講座中における注意事項

- 講座中、窓を少し開放して換気する。換気システムがよいこともあるが、できるだけ「密閉状態」をさける。講座の2限、4限の終了時に消毒する。※講師や参加者に協力を依頼する。
- 講座の開講、受講の前後、お手洗いの使用後は、十分な手洗いを励行する。手指消毒ができる場合でも、流水(石鹸の併用)による手洗いを重複してでも行うことを奨励する。

### ⑤ 定員

- 教室の使用は、定員まで(但し、大学は半数)とする。立ち見は認めない。
- 特別講座では、一部、整理券を発行する。

### ⑥ 食事

- 模擬店は行わない。ただし、熱中症対策のため、飲料の販売は行う。
- 校内での食事は禁止する。飲み物はむしろ推奨する。
- 十分な手洗い(手指消毒を行い)とマスク着用を徹底する。

### ⑦ 当日の注意事項

- マスク着用。 ○入念でこまめな手洗い励行。 ○手指消毒(本部で用意)。
  - 大声での会話を控える。 ○食事の禁止。 ○スリッパ持参。(体育館)
  - あらゆる場面でのソーシャルディスタンス。 ○ゴミは持ち帰り。
- ※体育館や多目的室の講座には、スリッパ持参を呼び掛ける。販売あり。

### ⑧ 宣伝(ポスター・講座ガイド・HPなど)における注意事項

- 微熱、体調不良がある場合は、参加をご遠慮ください。
- マスク着用、スリッパ持参のうえ、ご参加ください。
- 手洗いを励行し、大声での会話はお控えください。

### ⑨ 事前準備

- アクリル板の確保。(会場校とも協力。)
- 消毒液の確保。(6月中旬より開始。早すぎると、消毒の効果が薄れるため。)

### ⑩ 健康習慣 ※推奨事項

○コロナウイルスに限らず、感染予防で大切なことは、基本的な生活習慣を整え、自己免疫力をアップ(維持)することが最も重要です。快眠・快食・快便など、十分な睡眠時間や栄養バランスのよい食事をとる。水分補給や適度な運動、入浴による体温維持やストレス解消、清潔な身体環境も重要な“コロナウイルス感染対策”とする。

○予防接種は感染防止対策の一つであるが、感染予防を保証するものではない。小まめで入念な手洗い、帰宅後のうがいや洗顔、歯磨きなども有効な感染防止対策。また腸内環境を整える「発酵食品」「食物繊維」の摂取もよい。つまり、毎日できる事を確実に継続することこそが、最強の感染症対策。実行委員会では、これらの感染対策を実施すると同時に、サマセミの講師や参加者にも、ご理解とご協力を機会あるごとに呼び掛けていく。